

2017文教施設セミナー

■施設一体型小中一貫校<地方型>

義務教育学校

信濃町立信濃小中学校の紹介





小林一茶のふるさと



森林セラピー基地
信州・信濃町癒しの森

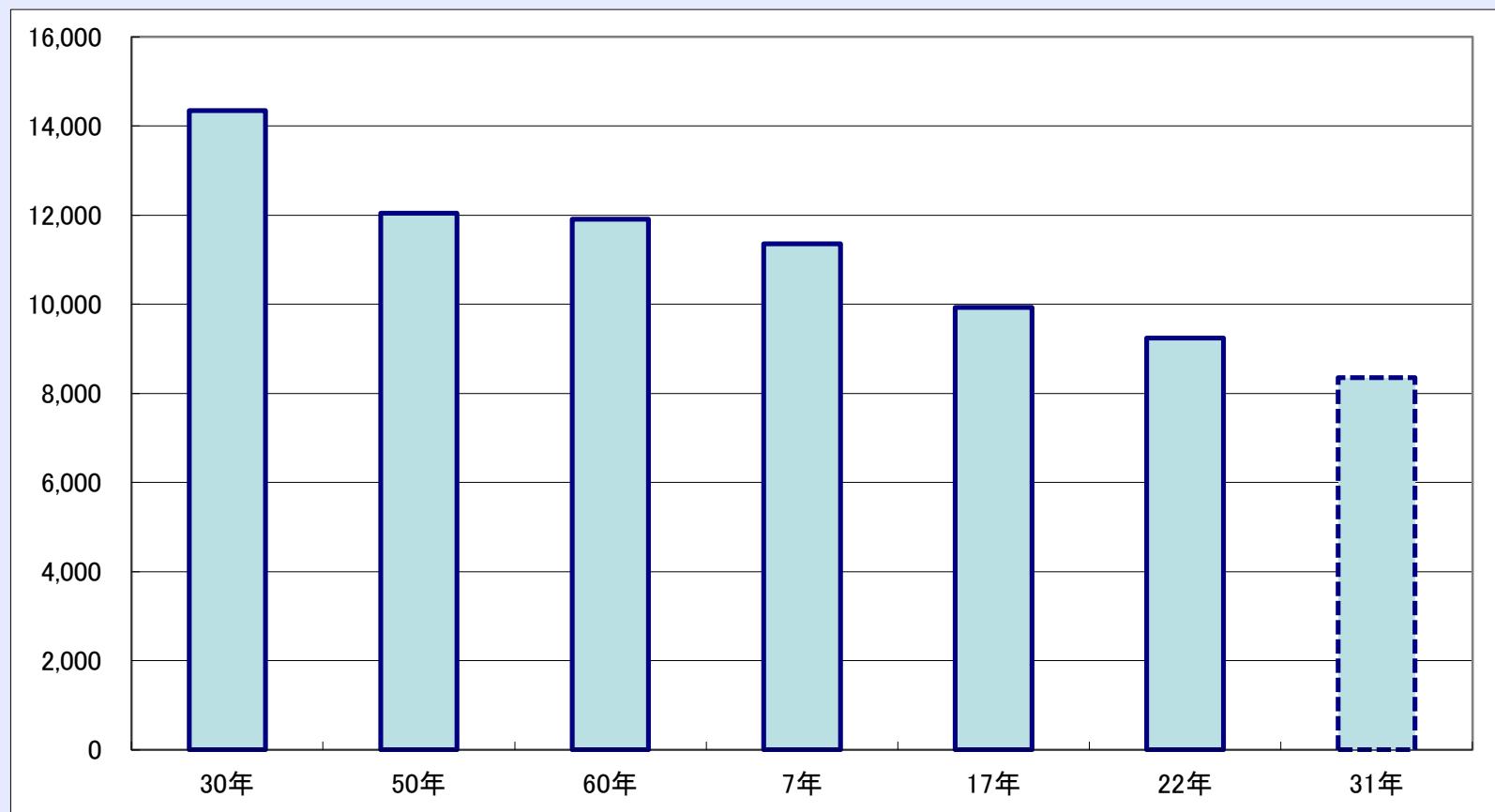
ナウマンゾウの化石発掘地



童話の森のファンタジー



信濃町人口の変遷



※ 31年はコーホート要因法による人口予測

※平成29年8月31日現在 8,723人

児童生徒数の変遷

学校名	S50年	S55年	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H23年	H23/S50
野尻湖 小学校	145	133	140	105	96	88	73	52	35. 9%
古 海 小学校	64	45	36	27	34	30	32	6	9. 4%
熊 分 坂 校	17	13	18	17	H5閉校				
柏 原 小学校	347	371	406	344	289	193	159	161	46. 4%
富士里 小学校	165	193	194	155	145	107	79	80	48. 5%
古 間 小学校	268	278	285	208	183	122	124	141	52. 6%
小学校 合 計	1, 006	1, 033	1, 079	856	747	540	467	440	43. 7%
信 濃 中学校	561	482	528	523	389	353	252	221	39. 4%
小合 計	1, 567	1, 515	1, 607	1, 379	1, 136	893	719	661	42. 2%

施設の老朽化と耐震性の確保

	野尻湖小		古海小		柏原小	
種別	校舎	体育館	校舎	体育館	校舎	体育館
建築	S47年	S47年	S48年	S55年	S53年	S54年
面積	1,924m ²	612m ²	1,487m ²	630m ²	3,483m ²	969m ²
耐震指数	0.31 3次診断	0.13 22年補強	0.21 1次診断	0.18 22年補強	0.30 1次診断	0.37 22年補強

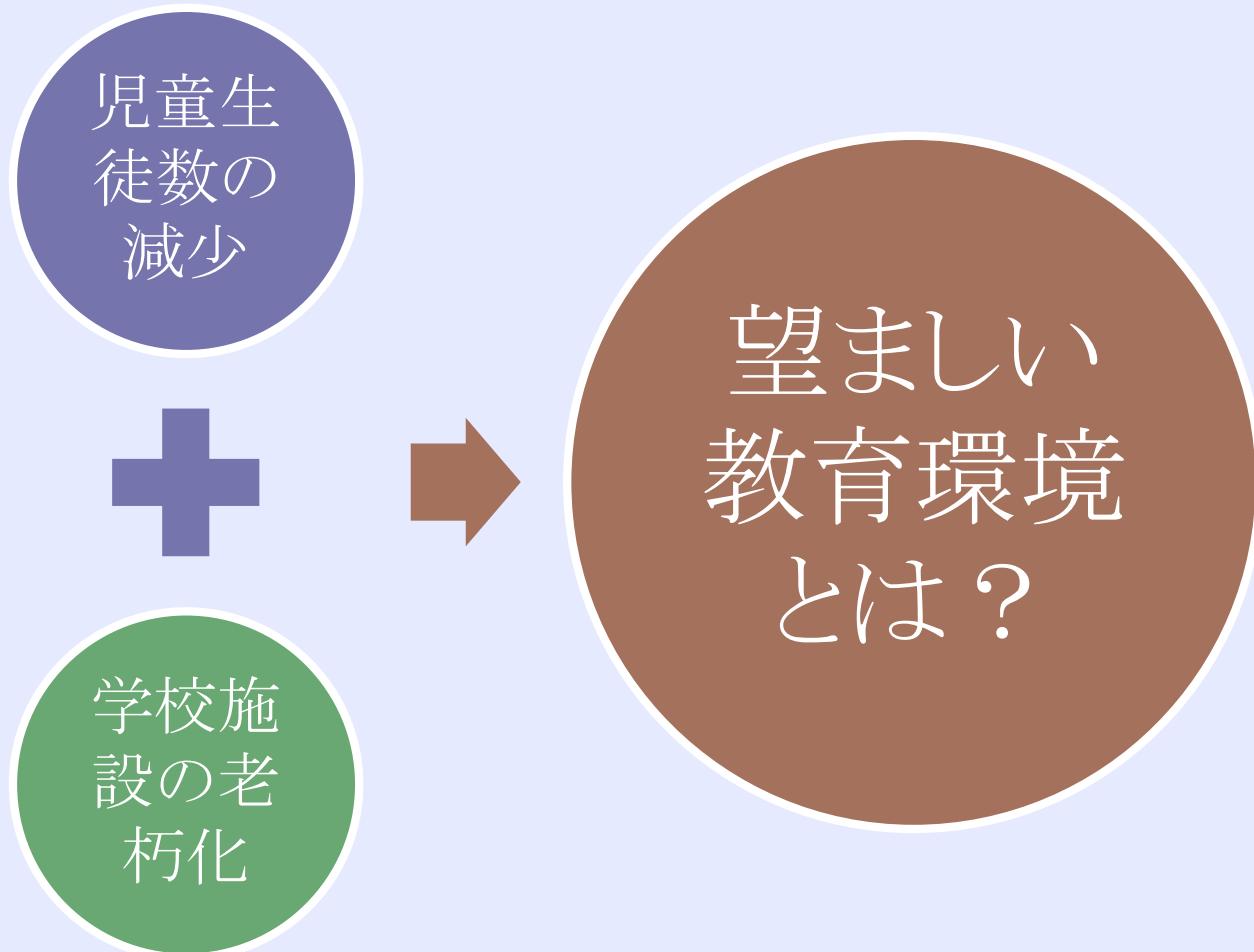
	富士里小		古間小		信濃中	
種別	校舎	体育館	校舎	体育館	校舎	体育館
建築	S50年	S56年	S51年	S51年	S45年	S45年
面積	2,126m ²	732m ²	2,691m ²	790m ²	5,320m ²	1,277m ²
耐震指数	0.43 1次診断	新耐震	0.18 1次診断	0.14 22年補強	0.188 1次診断	0.37 22年補強

耐震指数：S56年以前の古い耐震基準で建てられた建築物の強さを表すのに使う数値。国土交通省の基準では0・6未満は「震度6強の地震で崩壊、倒壊する危険性がある」、0・3未満は「危険性が高い」とされる。文部科学省は学校の建物は地震時の避難所になることから、より安全な0・7以上に耐震補強するよう求めている。

昭和45年以降に発生した震度5以上、死者の出た地震

・ S58(1983)	5/26(木)	11 : 59	日本海中部地震(秋田県)	震度5	死者	104人
・ H 5(1993)	7/12(月)	10 : 17	北海道南西沖地震	震度5	死者	202人
・ H 7(1995)	1/17(火)	5 : 45	阪神淡路大震災	震度7	死者	6,434人
・ H12(2000)	7/ 1(土)	16 : 02	新島・神島近海地震	震度6弱	死者	1人
・ H13(2001)	3/24(土)	15 : 27	芸予地震	震度6弱	死者	2人
・ H15(2003)	9/26(木)	4 : 50	十勝沖地震	震度6弱	死者	2人
・ H16(2004) 10/23(土)		17 : 56	新潟県中越地震	震度7	死者	68人
・ H17(2005)	3/20(日)	10 : 53	福岡県西方沖地震	震度6弱	死者	1人
・ H19(2007)	3/25(日)	9 : 41	能登半島地震	震度6強	死者	1人
・ H19(2007) 7/16(月)祝		10 : 13	新潟県中越沖地震	震度6強	死者	15人
・ H20(2008)	6/14(土)	8 : 43	岩手・宮城内陸地震	震度6強	死者	17人
・ H20(2008)	7/24(木)	0 : 26	岩手県沿岸北部地震	震度6強	死者	1人
・ H21(2009)	8/11(火)	5 : 07	静岡沖地震	震度6弱	死者	1人
・ H23(2011)	3/11(金)	14 : 46	東北地方太平洋沖地震	震度7	死者	16,278人
・ H23(2011) 3/12(土)		3 : 59	長野県北部地震	震度6強	死者	3人
・ H23(2011)	4/ 7(木)	23 : 32	宮城・福島地震	震度6強	死者	8人
・ H23(2011)	6/30(木)	8 : 16	長野県中部地震	震度5強	死者	1人
・ H24(2012)	3/14(水)	21 : 05	千葉県東方沖地震	震度5強	死者	1人

町が抱えていた学校の課題



取り組みの経過

平成16年

3月 町長から教育委員会に対し諮詢

「少子化による小学校適正配置の検討」について

4月 信濃町立小学校適正配置検討委員会設置【18人】

9月 議会からの政策提言

11月 各小学校PTA・保育所保護者との懇談会(5回)

平成17年

4月 5地区6会場で地区懇談会開催(6回)

5月 子育てグループとの懇談会(1回)

9月 議会小学校適正配置調査特別委員会設置

12月 適正配置検討委員会答申(本委員会7回小委員会2回)

【現在5校ある小学校を統合し1校とする。】

平成18年

8月 信濃町PTA連合会研究集会

「魅力ある信濃町の学校づくり ー統合に向けてー」

9月 議会小学校適正配置調査特別委員会の報告

「信濃町の将来を担う児童のために、住民の合意を得て小学校を統合し、教育環境の改善に取組むこと」

10月 5地区6会場で学校統合住民懇談会開催

12月 信濃町PTA連合会長から町長に要望書

「小学校統合は、遅滞することなく、進行することを望みます」

平成19年

3月 教育環境検討委員会設置【25名】

9月 信濃町教職員研修会 小中一貫教育研究部会中間報告

平成20年

3月 教育環境検討委員会の最終答申

【現中学校敷地に統合小学校および中学校を統合し建設する。】

【統合小学校および中学校において特色ある小中一貫教育を目指す。】

4月 5会場で住民懇談会開催

5月 6会場で住民懇談会開催

9月 町長 学校統合・小中一貫教育校の建設表明
議会からの政策提言

「信濃町の将来を担う児童のために、早急に小学校を統合し、現中学校敷地に新たな学校を建設するとともに、中学校を改築すること。特色ある小中一貫教育を行うことにより、ふるさとに誇りを持つ子どもを育てる、教育環境を実現すること」

10月 4会場で住民説明会開催

11月 学校建設プランに基づく調査関係補正予算議決

12月 学校づくり委員会設立準備会設置

平成21年

1月 町長から町民への建設表明 広報

「平成24年度開校を目指して、現在の中学校敷地に統合校舎を建設する。」

4月 学校づくり委員会設置【89人】住民評議員委嘱【28人】

カリキュラム部会、施設部会、地域参加部会、放課後事業部会、開校部会、通学対策部会

8月 6会場で住民説明会開催

平成22年

2月 信濃町地域公共交通協議会発足

3月 学校づくり委員会答申

【学校の施設計画・カリキュラム・地域参加による学校運営・放課後事業・開校・通学対策の具体的方策】

3月 学校建設予算・学校設置条例改正案議決

4月 過疎地域自立促進特別措置法の過疎地域に指定

5月 工事請負契約議決

平成23年度

- 4月 信濃小中学校開校準備委員会設置**
- 6月 開校準備委員会とPTA役員との懇談**
- 7月 特別支援教育のあり方検討委員会設置**
- 7月 各小中学校で保護者説明会開催**
- 7月 住民説明会開催**
- 8月 各保育所で保護者説明会開催**
- 8月 学校運営協議会設立準備会設置**
- 9月 小学校跡地利用検討委員会設置**
- 10月 各小学校閉校式・式典開催(11月まで)**
- 11月 開校準備委員会と設立準備会・PTA役員との懇談**
- 11月 4会場で保護者説明会開催**
- 12月 新校舎・体育館完成 中学校引越、生徒供用開始**
- 小学校跡地利用検討委員会答申**

平成24年

2月 豪雪による災害救助法の適用

3月 5小学校閉校

小学校引越

4月 信濃町立 信濃小中学校開校

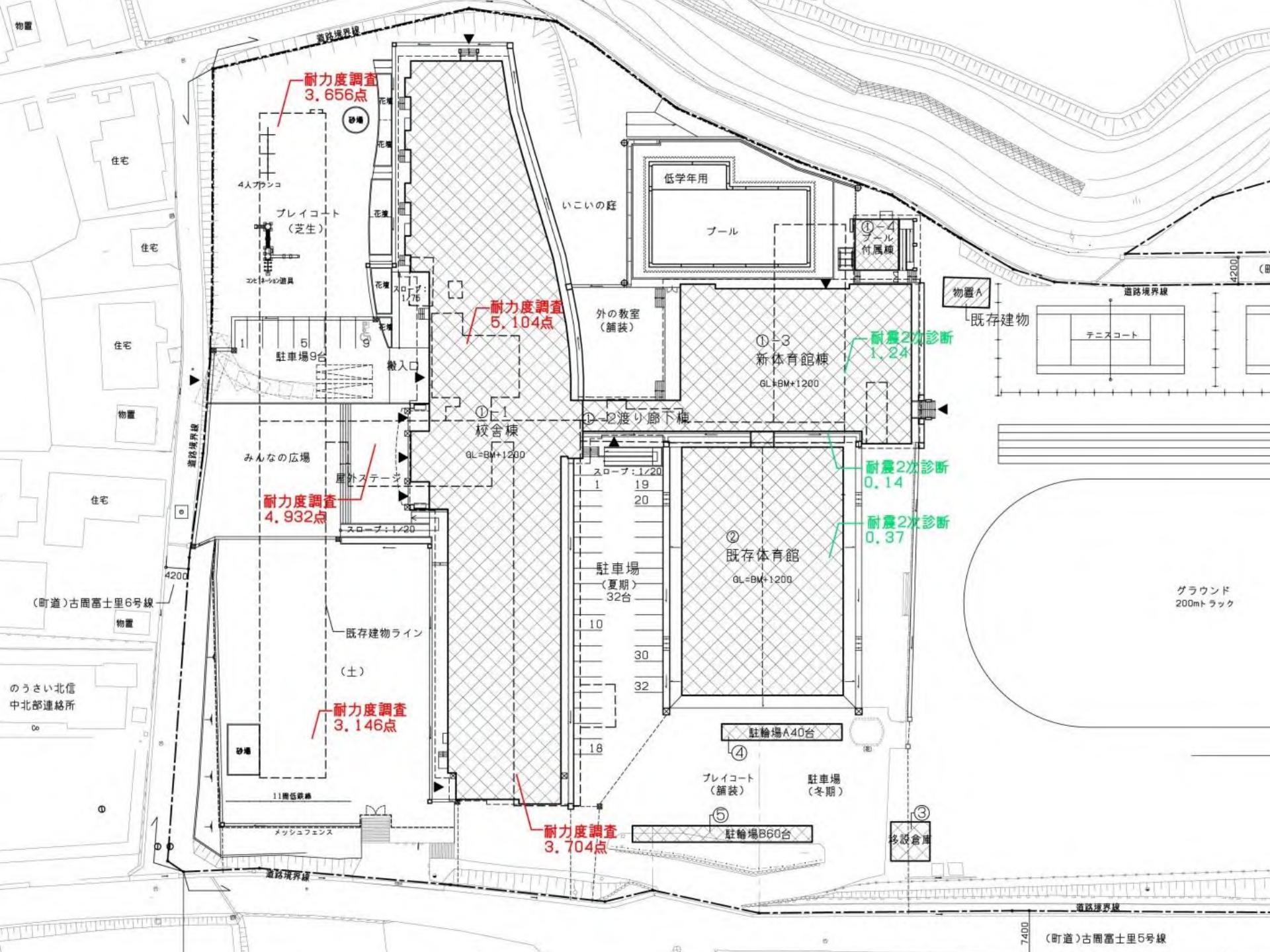


1年生と9年生が
手をつないで
入学式の入場

施設一体型校舎ができるまで

解体前の信濃中学校中庭





校舎解体



校舎解体



校舎建築



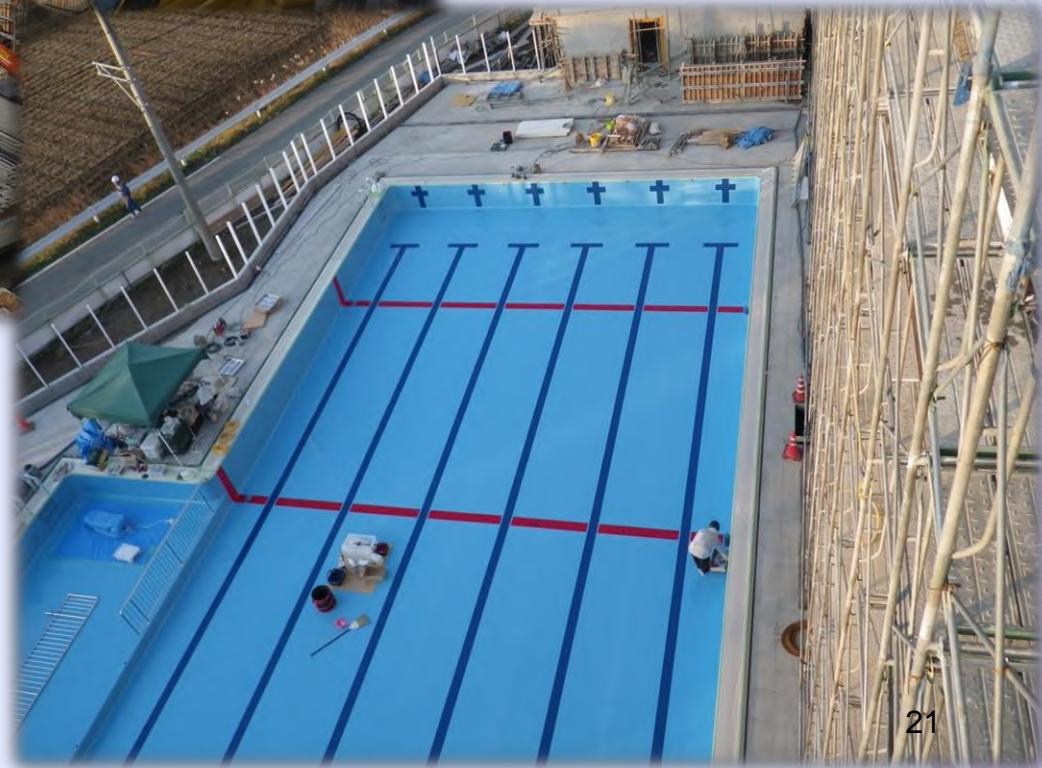
校舍建築



新体育館建築



プール建築



既存体育館耐震補強



平成24年しゅん工



しゅん工 1階



しゅん工 2階



しゅん工 3階



しゅん工 新体育館棟



施設（部屋等）

地域交流ホール	異学年の子どもたち、教職員、保護者、地域の方とさまざまな交流をするスペースとして、学校の中心に設けた。 地域材を積極的に使用。アカマツ、カラマツ、ヒノキ、スギ
ティーチャーズステーション	休み時間に先生と、児童生徒が交流を深めたり、子どもたちが先生に気軽にわからないところを聞けたりできるように。また、先生が授業の準備がスムーズにできるよう3階の中心に設けた。
職員室	小中共有の職員室にすることにより、児童・生徒に関する情報交換や、教職員の意思疎通が容易にできるように。
保健室	小中ひとつで広い部屋とし、中はカーテンで仕切れるよう入口を2箇所設け、子どもたちの発達段階や心理的負担を軽減。9年間の成長の記録、健康管理を行う。救急車が横付けにできるよう東側に配置。
ラーニングセンター	異学年の子どもたちが交流し、自ら学び活動するゾーンとして図書館、PC、放送室等を2階中心に設けた。
芸術系室	感性が豊かになるよう、黒姫山、妙高山を望める位置に設けた。
技術・音楽室	大きな音が出る教室は、新体育館棟に設けた。
新体育館	新体育館に音楽室を併設し、可動間仕切りにより大ホールとして使用でき、文化・芸術活動の場として利用も可能。
普通・多目的	普通教室の並びに、多目的室を配置し、様々な活動に対応できるよう柔軟性のある環境とした。

施設（環境対応等）

気候対応	建物全体を断熱材で包む、外断熱の採用 <ul style="list-style-type: none"> ・外気温がコンクリートに与える影響の減少 ・風雨が直接コンクリートに触れないため、建物の長寿命化 ・暖房用エネルギーの削減、結露抑制
	高遮熱ペアガラスの採用
	高断熱、結露しにくい樹脂サッシの採用
	出入り口上部に、雪庇防止柵の設置
	屋根の雪下ろしが不要な暖勾配な屋根
環境教育	将来、空調機器の設置対応可能なように、スリーブの設置
	新体育館棟壁面に、10kw太陽光パネルの設置
	図工室にペレットストーブの設置
地域材の利用	トイレ洗浄、外回りの散水に井戸水の使用
	床材・・・一部信濃町産アカマツフローリング
	腰壁・・・ヒノキ縁甲板（町民の森）
	天井・・・一部ヒノキ板（町民の森）
ユニバーサル デザイン	パーテーション・・・カラマツ集成材（富士里学校林）
	怪我をした子どもが学校で困らないような、エレベーター、多目的トイレの設置
	家具・設備は、子どもの体格差に配慮し、階層ごとに高さに変化
	各ゾーン毎に色に変化をつけ、自分の居場所がわかるように

信濃小中学校建設 補助金関係

補助金合計額

1,045,275

補助メニュー				金額(千円)
H21	安全・安心な学校	中学校地震補強	体育館	197,615
H22	づくり交付金事業	中学校危険改築 等	校舎	
H22	公立学校施設整備	統合小学校	校舎	515,074
H23	国庫負担金事業		体育館	
H23	学校施設環境改善	中学校危険改築 等	校舎	272,586
H23	交付金事業			
H23	木造公共施設	木の香る環境づくり総合推進事業	内装木質化	60,000
H23	整備事業			

起債関係

起債合計額

644,500

H21	地震補強	中学校体育館	学校教育施設等整備事業債	33,200
H22	統合	信濃小学校		282,600
H23	危険改築	信濃中学校	過疎債	328,700

年度別支払

合計額 2,265,339千円 H24.6現在

H21	H22	H23	H24(予定)
125,774	833,853	1,175,241	130,471

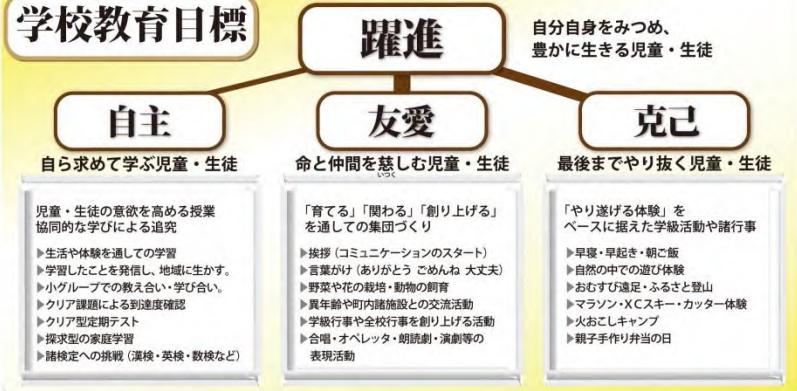
通 学 対 策

- ・ **路線バス** (町地域公共交通協議会) 7路線
 - 朝2便 7時台、8時台 学校着
 - 夕3便 15時台、16時台、18時台 学校発
- ・ **スクールバス** (直営) 3路線 路線バス定員超え分 3台所有
 - 朝1便 8時台 学校着
 - 夕2便 15時台、16時台 学校発
- ・ **スクールタクシー** (委託) 1路線 ジャンボ、普通
 - 朝2便 7時台、8時台 学校着
 - 夕3便 15時台、16時台、18時台 学校発

徒步通学 3km以内

学校教育目標と教育課程

学校教育目標



教育課程

信濃小中学校は、施設一体型の中小一貫教育校として、小学校4年生までの初等部と5年生からの高等部の4・5区分で小中9年間を運営します。

さらに、学校教育目標の実現に向けて、読書活動とふるさと学習を柱に位置付け、9年間継続して朝読書活動や信濃町を学習材にした学習に取り組みます。それらの指導に当たっては、地域の方々の協力を得て、地域で子どもを育み、支援する体制をとっています。

地域連携

しなの学校応援団

教職員とともに、児童・生徒の育ちを支える。
児童・生徒から学び、児童・生徒と共に育つ。

重点目標

- 基礎学力の習得と主体的な追究力の育成
- 協同的な学びを基盤とした学習集団の形成
- 地域とともに進める体験・交流学習の充実
- 個に応じた指導と特別支援教育の充実
- 小中一貫教育のあり方の研究

4・5区分による 学びの充実



高等部

教科担任制 算・数・英の少人数学習 課題別コース学習 個別支援体制

- 学校の周りの自然や野尻湖とかかわる体験活動
- 信濃町の自然・人・産業・歴史をテーマにした課題解決学習
- 読み聞かせ（絵本・紙芝居・民話・物語）
- 教科での読書活動
- 特別支援教育の理念に基づく授業の実施
- リソースルームの設置
- ビジョントレーニングやリラクゼーションの活用
- 関係諸機関（特別支援学校・医療・福祉・保育園）との連携
- 野菜の栽培や動物の飼育を通して、地域の人と関わる活動
- 「わか竹」（総合的な学習）の充実
- 「ふるさと信濃町」をテーマにした卒業レポート
- 9年間で読ませたい100冊 新書10冊
- 読書を通して生き方を学ぶ
- 1年生入学時と9年生卒業時の図書プレゼント

皆さんの発想で、地域の子どもたちを地域の皆さんで育てていく組織に

登下校支援、学習支援、読み聞かせ支援、体験支援、遊び支援、栽培支援、部活支援、クラブ支援、陸上支援、スキー支援、登山支援、行事支援 等々

廃校になる校舎等の活用

共通事項

- ・ プール
管理上危険なため取り壊す。
- ・ 門柱、石碑、記念樹等
学校跡地として記憶を残すよう配慮する。
- ・ その他
各校に残る貴重な資料、財産は、保存する場所を定め適正な維持管理をする。

信濃町立野尻湖小学校



校舎： ナウマンゾウ博物館と一体利用（資料保管庫）
体育館： 社会体育施設、避難所として利用
グラウンド：社会体育施設、博物館の駐車場として利用

信濃町立古海小学校

古海小 2011
ありがとう

校舎：

体育館：

グラウンド：

企業誘致対象地、要望がない場合取壟し
社会体育施設、避難所として利用

企業誘致対象地、社会体育施設として利用

信濃町立柏原小学校



校舎：取壊し（公園施設）

体育館：社会体育施設、避難所として利用

グラウンド：社会体育施設として利用

信濃町立富士里小学校



校舎：

体育館：

グラウンド：

企業誘致対象地、要望がない場合取壟し

社会体育施設、避難所として利用

企業誘致対象地、社会体育施設として利用

信濃町立古間小学校



校舎： 地域交流施設、公民館として利用
体育館： 社会体育施設、避難所として利用
グラウンド： 社会体育施設として利用

取組の効果について

- ◆ 施設一体により、学校生活を共に過ごすことで、1年生から9年生までが顔見知りとなり、教職員も同じため、後期課程(7年生)への進級に不安を覚える児童が少ない。(中一ギャップは見られない)
- ◆ 上級生が下級生の手本となろうという意識が高まる。特に後期課程(7~9年生)になるほどその傾向が強まる。同時に、下級生の上級生に対する憧れの醸成など、相互に精神面でよい効果が生まれている。
- ◆ 統合して町にたつた一つとなった学校は、新たな地域の拠点となるものであり、地域との協働関係の強化につながった。(コミュニティ・スクールとしての学校運営が明確になった)

取組後見えてきた課題

- ◆ 平成24年4月に開校し6年目を迎えた。統合時から行ってきた行事は、ある程度精査してスタートしたつもりだったが、旧小学校の伝統など引き継ぐかたちで残した行事を継続させることが難しい。子供も教職員も負担が増加しており、行事の精選が必要である。
- ◆ 保健室の機能等、小中が一体となることでより強化される部分がある一方、小学校の児童と中学校の生徒で状況が異なることも多少あり、無理に一体とせず区分したほうがよいスペースもある。
- ◆ 9年間を見越した小中一貫教育のカリキュラム

ご清聴ありがとうございました。